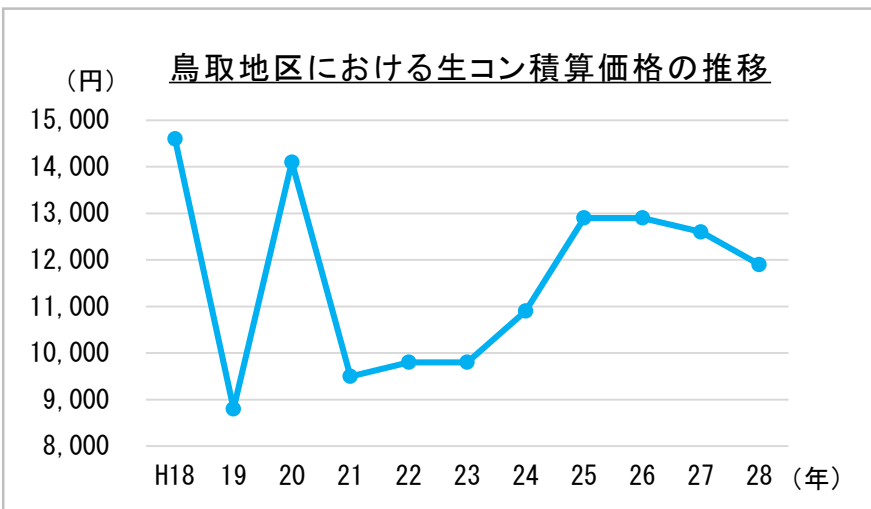
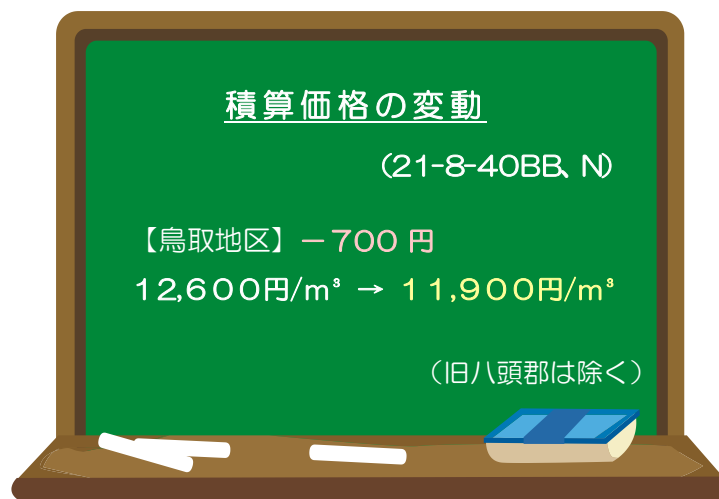




鳥取県の生コン積算価格下落

4月の設計単価改定で鳥取県の生コン積算価格が700円/m³下がり12,600円から11,900円になりました。(旧八頭郡8カ町村を除く鳥取市が対象)
平成20年11月に組合が設立された当時の積算価格は8,800円/m³(21-8-40)でしたが、組合員一丸となって5年間かけて12,900円に戻しました。しかし、昨年8月に300円下がり12,600円/m³となり、その後も一般の仕事が少ない中で自動車道のトンネル、橋梁など大型物件でアウトとの競合が続いていたところでした。建設資材の中で金額、数量とも一番大きなウエイトを占める生コンの積算が下がれば経費率が下がり、工事を受注した建設業者にとって経営上、大きな影響が出るのは避けられません。



経済の成長率を底上げするため、国や県においては、各種設計労務単価を大きく上げたり、建設工事の最低制限価格を上げ、適正な下請け契約や建設労働者の適正な賃金水準の確保、現場の就労環境改善など、業界のためになる政策が実施され、大変けっこうなことと思いますが、私たちのような多くの『材料屋』は公共工事縮小のため仕事量が減少し、同業間の価格競争が更に厳しくなり、よりいっそう建設業者から買い叩かれ、積算価格が下がるという悪循環から抜け出ることができない。そのような業界が少なからず存在することを知っていただきたいのです。

最近では燃料が下がり助かっていましたが、11,900円では各社とも原価ぎりぎりの価格だと思います。積算価格が下がったのは他人のせいではなく、私たち生コン会社にすべての原因や責任があるのは当然ですが、それほど厳しい経営をしているということを発注者やゼネコンの皆さまにも知っていただきたいのです。そしていつか、値上げのお願いをしたときに、思い出していただき、ご理解をいただきたいと願っています。

近隣地域の状況 (円)

	セメント価格	生コン価格
広島市	11,200	14,450
岡山市	9,900	14,450
山口市	12,400	15,750
松江市	12,400	16,820
鳥取市	12,500	11,900

(建設物価2016年4月号より)





会計検査 Q & A

今月も、『公共工事と会計検査』の改訂 10 版より「会計検査 Q&A」をご紹介します。一息ついて読んでいただければ幸いです(^-^)/

著者の市川 啓次郎 (いちかわ けいじろう)氏 は 昭和 19 年生まれ。元会計検査院 国土交通統括検査室長を務め、現在は財団法人経済調査会の技術顧問としてご活躍中です。

今月の質問 : 安ければ良いのか？

ダンピングの対応に苦慮している。私は良好な品質確保のために工事請負額の適正水準の確保は必要ではないかと思うのだが、最近受けた会計検査において、調査官には、適正な価格で積算することよりとにかく安く積算すべきであるとの印象を強く受け疑問を持った。

質問

会計検査院の積算に対するスタンスは「適正な積算」であり、「安ければ良い」は誤解です。なぜこのような「誤解」が生じたのか考えてみました。

検査院の意図するところは、経済的、合理的な積算の実現です。積算基準などで歩掛りが定められていない工法などでは、発注者によって積算が区々となっていることは少なくありません。そうした場合、調査官は何種類かの積算を見て、そのなかの最も安価となっている積算例に、どれだけきちんとした根拠、合理性があるかに着目します。同時に、比較して高価となっている積算については、ほかではこのように安く積算している例があるが、どうしてこのような積算をしたのかを質問します。つまり、どちらの積算に合理性があるかを検証するのです。安価な積算の方により合理性があれば、調査官がその積算を推奨するのは当然ですが、誤解はこの検査の過程で生じるのではないのでしょうか。

検査の際、調査官が、時には「この積算は問題だ。よそではこのように安く積算しているではないか」と決め付けたようないい方をするところがあるかもしれません。しかし、それは検査院の結論ではなく、調査官の私見であり、形を変えた質問なのです。受検側の方には、なぜそのような積算をしたかをきちんと説明してほしいと思います。

検査院は、経済的であると同時にきちんとした合理的根拠を有する積算を求めているのであって、「安ければ良い」は誤解であり、そうした考えは、検査院の内部では通用しません。検査の際に、調査官がとにかく「安ければ良い」というように取れる発言をしたとしたら、それに対して臆することなく反論してほしいと思います。

会計検査は、調査官がジャッジする場ではなく、受検側との議論を通じて適正な経理処理のあり方を追求する場でもあるのです。

回答

シ オ ちゃんの製品紹介コーナー

祝 街路滝山桜谷線開通！

平成 28 年 3 月 19 日に、鳥取市岩倉地内（岩倉交差点）と同市卯垣地内（滝山交差点）を結ぶ延長 990m（滝山トンネル 331m を含む）の街路滝山桜谷線が開通しました！
この路線には、『かんたん側溝』と『外フラット式マス』を納入しましたのでご紹介します！

かんたん側溝 縁石一体型両面スリット蓋 (CTs タイプ)
歩道・車道側からの集水性が抜群なので、交差点内の水たまりを解消します。R 対応製品を使用しているため、見た目も綺麗で安全です！





水路幅と同じ**外フラット式マス**を使用しているため、張り出しがなくスッキリ仕上がります♪



かんたん側溝 縁石一体型片面スリット蓋 (COsM タイプ)
歩道側が直壁になっているので縁石上部まで舗装が可能！

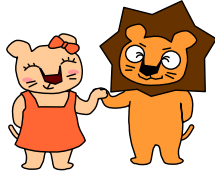


かんたん側溝 縁石一体型片面スリット蓋 (COsH タイプ)
縁石には水抜き用の貫通穴を設け、歩道側の雨水を車道側のスリットへ流すことができるので、排水能力が高まります！



かんたん側溝 縁石一体型両面スリット蓋 (CTs タイプ)
歩道・車道両側に連続スリットを設けています。

滝山桜谷線では、様々な規格のかんたん側溝を使用しました！
蓋のバリエーションが豊富なので用途によって使い分けができます♪
通る際には是非ご覧ください！



現在、国道 178 号（岩美道路）を工事しており、浦富インター部分の施工が完了しました。

『かんたん側溝』『T-K 水路』が使用されています！



T-K 水路

かんたん側溝

浦富インター上り口



▼R 部分 (R12)



乗入部(CTsV2)▲



東北福島 小名浜港訪問記



4 月 14 日 社員研修旅行で、東日本大震災から 5 年が経過した福島県いわき市の小名浜魚市場施設と隣接するいわき・らら・ミュウを視察しました。

小名浜魚市場では、水揚げされた各々の魚種を精度の高い検査機器を使用し放射能検査を実施して、厳しく安全確認をしてから出荷されています。

いわき・らら・ミュウでは、(株)いわきダイクルーズの鈴木代表が震災時の津波の様子や人々の様子をジオラマを用いて説明して下さいました。

今では施設はもちろん、いわき市のほとんどの場所が復興していますが、小名浜港内の一部の地面は震災当時のままになっています。よく見ると波打っており、「その場所を直す費用があるならば、逃げ道を作るのに使いたい」とおっしゃっていたのがとても印象に残っています。

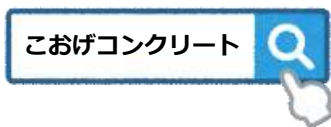
また、鈴木さんは風評被害で漁業関係者がとても苦労されていることも嘆いておられました。回遊魚であるかつおやさんまをはじめ、出荷される魚は全て安心・安全な魚なので、是非安心して食べてほしいと力を込めて話しておられました。

誰でもができる復興支援は、海産物・農産物に限らず、風評に惑わされることなく現地の方たちを思いやる行動をおこすことではないでしょうか。

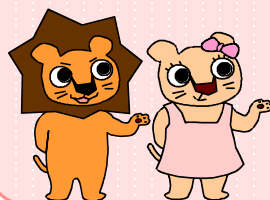
その夜、熊本で大地震が起き、今日まで被害が拡大し続けていることに胸を痛めるとともに、抗えない自然の脅威に人間の非力さを感じるばかりです。犠牲になった方々のご冥福と、一日も早い復興をお祈りいたします。



★★ 弊社ホームページも是非ご覧ください ★★



QRコードからでもアクセス可能です♪



製品に関するお問い合わせ、資料請求は

直通電話: 0858-73-0500

までお気軽にどうぞ!

FAX : 0858-73-0535

E-mail : info@kooge.jp

● ● 編集後記 ● ●

弊社ホームページ『トピックス』に毎週記事を更新しています。

製品の説明や、よく使用される単語の説明などを『誰でも分かりやすく』をモットーに作成しています。

(私も勉強しながら作成しています…)

これからも皆様に良い情報を発信できるよう頑張っていきます! ぜひご覧ください♪

(土田)



<URL><http://www.kooge.jp/>

<e-mail>info@kooge.jp